

課題名 エンゲージメントやコミュニケーションを促進するデジタルツイン行動変容支援システム

プロジェクトの概要

- ・従来の研修や業務改善システムは、無意識的な日常行動を反映することは難しく、また、行動変容の定着には個人差がある。
- ・本研究は、認知心理学とAIデータサイエンス的アプローチに基づき、ユーザの日常行動をセンシングし、仮想空間でのシミュレート行動体験を介して、振り返りを行うデジタルツイン型行動変容支援システムを開発する。



ビジネスモデル(申請時)

- 市場としては、企業研修や業務改善ソリューション分野を対象とする。ビジネスモデルとしては下記の2つを想定。
- (1)企業におけるパーソナライズ(チームビルディングを含む)トレーニングは、サブスクライブ型でソリューションを提供する。
 - (2)ビジネス(職場)環境全体に対しては、コンサルテーション型のサービスを提供する。

活動計画(申請時)

内容:

- ・デジタルツイン行動変容支援システムのプロトタイプの開発
→ 大学内のラボで検証
- ・開発したプロトタイプシステムを使って、ステークホルダー企業と実証実験
- ・実証結果をシステム改良にフィードバック

計画:

- ・2023年度:10月までに、大学内のラボで開発しながら運用を図り、最低限のプロトタイプを完成予定。パートナー企業2社程度(地域企業)を想定し、11月から本システムを活用し実証実験。実証実験結果から逐次改良を行う。 ※2024年12月起業予定。

- エンゲージメント向上評価
- コミュニケーション活動度評価
- アサーティブ度
- 生産性評価・・・など

行動ログ、トレーニングログなど



デジタルツイン行動変容アプリ